

まちづくり報告書

(令和2年度分)

令和3年7月
企画調整課

- ◆令和3年7月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	1
施策 02	汚水処理の推進	5
施策 03	秩序ある市域の整備	9
施策 04	公共交通の充実	13
施策 05	道路・水路の整備と保全	15

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	生活環境・自然環境の保全	17
-------	--------------	----

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	21
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	25
施策 03	観光の振興	29

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	33
施策 02	健康づくりの推進	37
施策 03	高齢者福祉の充実	41
施策 04	障害者（児）福祉の充実	45
施策 05	セーフティネットの推進	47
施策 06	地域福祉の推進	49

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	53
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	59
施策 03	男女共同参画社会の推進	63
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	65

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	67
施策 02	安全な暮らしの推進	71
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	75

政策 07 持続可能なまちづくり

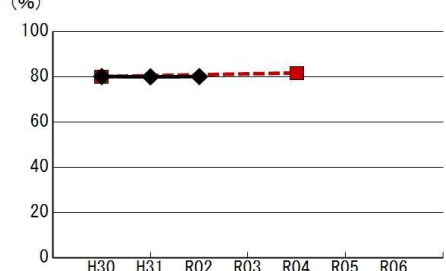


施策 01	市民協働の推進	79
施策 02	積極的な広報・広聴の展開	81
施策 03	持続可能な行政経営	83
施策 04	持続可能な財政運営	87
施策 05	市民から信頼される職員・組織づくり	91

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01 安全な水道水の安定供給

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	80	79.9	80.0	81.6
評価	(状況) 微増となった。 (原因) 給水区域内人口が143人減、給水人口が65人減となったが、給水区域内人口の減少率よりも給水人口の減少率が少なかったため、上水道普及率としては微増となった。 上水道普及率 = 給水人口 / 給水区域内人口					対前年度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数(累計) (戸)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	15,737	16,094	16,331	16,937
評価	(状況) 前年度比237戸増である。 (原因) 給水区域内人口は 143人減であるが、給水戸数は237戸増である。集合住宅の増加が主な原因と考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長(累計) (m)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	247,971	250,921	253,243	253,900
評価	(状況) 前年度比2,322m増加した。 (原因) 管整備延長は順調に増加している。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業01 管網の整備

指標	管路経年化率(老朽化率) (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	34.91	34.67	34.67	34.90
評価	(状況) 横ばいである。 (原因) 新たに法定耐用年数を経過した管路延長と、管路更新延長の伸び率がほぼ変わらなかったため、現状維持ができている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数 (件)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	0	0	0	0
評価	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	有収率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	92.7	89.9	89.9	93.7	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と変わらず横ばいである。 (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して行っていく必要がある。また給水管の漏水修理は年間100件程度行っている。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	水質基準適合率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	100.0	100.0	100	100	(向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(達成)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	132.9	114.7	133.5	135.8	(横ばい)
評価	(状況) 前年度比18.8ポイント増である。 (原因) 昨年度は一時的な支出（退職給付費）の影響により指標値が低かった。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	給水原価（円/m3）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	132.7	158.7	133.1	135	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度比25.6ポイント減である。 (原因) 昨年度は一時的な支出（退職給付費）の影響により指標値が高かった。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(低)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 02 汚水処理の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	汚水処理率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【上下水道課】	63.1	65.4	73.4	70.7
評価	(状況) 前年度比8ポイント増。 (原因) 増の要因は、浄化槽清掃業者に浄化槽使用世帯に関する調査を行い浄化槽使用人口が3384人増加したことによる。目標を達成しているが前年度県平均値と比較すると19.6ポイントの劣位であり、供用開始区域内人口、合併処理浄化槽使用人口を増加させる必要がある。	(％) 				対 前年度
						☀ (向上)
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	46.3	47.4	48.6	52.5	☀️ (向上)
評価	(状況) 年々微増の状況であり、前年度比1.2ポイントの増。 (原因) 今年度12.74haを整備し、実整備面積は504.2haとなり、全体計画面積1036.6haの48.6%となった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						▬ (高)

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道接続率 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	72.0	73.3	75.0	74.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.7ポイント増。 (原因) 処理区域内人口は473人増、下水道接続人口は664人増となり、下水道接続率は1.7ポイント増となった。目標を達成したが、独立採算を達成するには、未接続世帯や事業所への接続促進活動を強化し接続率を向上させる必要がある。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	下水道施設の維持管理上のトラブル件数 (件)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 維持管理のトラブルは発生していない。 (原因) 計画的な維持管理により、トラブルは発生していない。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	矢部川浄化センターの放流水の水質 [BOD値] (mg/L)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0.7	0.8	0.7	8.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 基準値を下回っている。 (原因) 矢部川浄化センターにおいて適正に汚水処理がなされており、放流水の水質は基準値を下回っている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 合併処理浄化槽による汚水処理の推進

指標	下水道供用開始区域外の浄化槽処理人口普及率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	42.6	45.5	57.4	50.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比11.9ポイント増。 (原因) 11.9ポイント増の要因は、合併処理浄化槽使用人口を精査したことによる。浄化槽清掃業者3社に浄化槽使用世帯に関する調査を行い、浄化槽使用人口が大幅に増加した。	(％) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	経費回収率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	51.0	58.1	65.5	55.2	(比較不可)
評価	(状況) 前年度比7.4ポイント増。 (原因) 汚水処理費が5600万円減額したことが要因。(退職給付費6900万円減) 目標を達成したが前年度の類似団体平均値と比較すると12.01ポイントの劣位であり、汚水処理費の抑制や未接続世帯や事業所への接続促進活動を強化し使用料を増加させる必要がある。	(％) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

基本事業04 健全な下水道経営の推進

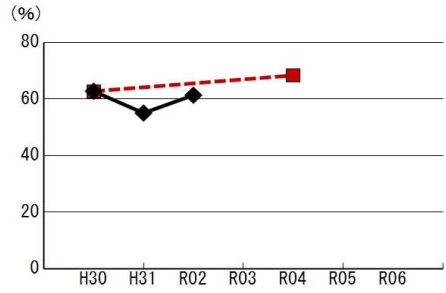


指標	汚水処理原価（円/m3）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	335.3	328.6	274.5	324.5	(比較不可)
評価	(状況) 前年度比54.1円減。 (原因) 汚水処理費が5600万円減額したことが要因。(退職給付費6900万円減) 目標を達成したが前年度の類似団体平均値と比較すると52.55円の劣位であり、汚水処理費の抑制や未接続世帯や事業所への接続促進活動を強化し有収水量を増加させる必要がある。	(円/m3) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 03 秩序ある市域の整備

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置されている (乱開発されていない)と思う市民の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	62.7	55.0	61.3	68.3
評価	(状況) H31年度に7.7ポイント悪化し、翌R2年度に6.3ポイント回復して 例年平均となった。					対 前年度
	(原因) 地域別では古川校区、水田校区、古島校区が増減幅が大きいので、 H31年度小学校再編案が土地利用の不満の一要因であったと考えられる。					 (向上)
						目 標 達成度
						 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	28.1	24.57	38.4	41.0
評価	(状況) H31年度に3.5ポイント悪化したが、翌R2年度に13.8ポイント回復して目標補間値を上回った。 (原因) R2年度は市全域の建築件数が減少したが、特に用途地域外の減少幅が大きかったため用途地域内申請率が上昇したと考えられる。					☀️ (向上)
		目 標 達成度 ■■■ (高)				

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	17.2	16.8	16.6	15.0
評価	(状況) 農地率の前年度からの減少率は例年0.53ポイント程度であるが、H31年度0.4ポイント、R2年度0.2ポイントと減少幅が小さくなっている。(原因) 用途地域内の土地において、都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいていることが考えられる。					☁️ (横ばい)
		目 標 達成度 ■■ (中)				

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積（㎡/人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	16.3	16.2	16.2	16.5
評価	(状況) H31の16.2％から変化していない。 (原因) H31からR2にかけて、新規の公園建設はあっていない。					☁️ (横ばい)
		目 標 達成度 ■■■ (高)				

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	84.3	75.5	77.1	85.0
評価	(状況) H31の75.5％から微増ではあるが1.6ポイント増加しR2は77.1％となった。 (原因) H31から公園の量は増えてはいないが、遊具の修繕を積極的に行い、また直営でも遊具の錆除去や塗装を行った。					☁️ (横ばい)
		目 標 達成度 ■■ (低)				

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園遊具施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値															
		【都市対策課】	44.1	39	56.7	45	☀ (向上)														
評価	(状況) H31は39%でR2は56.7%と17.7ポイント改善した。 (原因) 公園遊具の危険度判定業務委託の結果、緊急度の高い遊具から積極的に修繕等を行ったことが考えられる。	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>44.1</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>39</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>56.7</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H30	44.1	45	H31	39	45	R02	56.7	45	R04	45	45	対 前年度
						年度	実績値 (%)	目標値 (%)													
H30	44.1	45																			
H31	39	45																			
R02	56.7	45																			
R04	45	45																			
						☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)															

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	鉄道に満足している市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	74.5	73.3	76.8	83.4
評価	(状況) H28年度をピークにその後H31年度まで悪化し続けたが、R2年度に若干改善した。 (原因) 乗車数に応じたダイヤ改正関連の報道に反応して、満足度低下が続いている。 R2年度が低下せず上昇したのは、ダイヤ改正理由が新型コロナ起因であるため、かつ、平均回帰的な上昇かと思われる。					☀ (向上)
		目標達成度 ■■■ (中)				

指標	路線バス・コミュニティ自動車、タクシーに満足している市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	66.7	59.3	68.9	67.2
評価	(状況) 概ね64~66%を推移し続けていたがH31年度に大きく悪化し、翌R2年度に大きく改善した。 (原因) H31年度の低下は、乗務員不足による減便報道によるものと考えられる。 R2年度が上昇したのは、減便報道が新型コロナ起因、およびコミュニティ自動車のエリア拡大が主な要因と考えられる。					☀ (向上)
		目標達成度 ■■■ (高)				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	17.5	22.4	16.1	16.5	☀ (向上)
評価	(状況) H30年度を基準としてH31年度に5.1ポイント悪化したが、翌年R2年度に6.3ポイント回復した。					対 前年度
	(原因) コロナの影響による減便（鉄道、路線バス）が実施されたが、年齢別、地域別にみても全般的に困っていない市民が増加した。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)

基本事業01 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	17	18	19	23	☀ (向上)
評価	(状況) 路線バスは現状維持、コミュ自は運行団体の増加（H30年度-1団体、H31年度-1団体、R2年度-2団体）に伴い、路線数も増加している。					対 前年度
	(原因) 必要性が高まってきていることから、コミュニティ自動車運行を開始する地域が増加している。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ (中)

基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	8,181	7,997	0	8,276	(比較不可)
評価	(状況)					対 前年度
	(原因) 例年7月下旬に公表されるため、現時点では未取得。					(比較不可)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	1,053	1,039	0	1,332	(比較不可)
評価	(状況)					対 前年度
	(原因) 例年7月下旬に公表されるため、現時点では未取得。					(比較不可)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路・水路の整備と保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【道路課】	86.7	81.2	80.8	88.0	☔ (低下)
評価	（状況）前年度81.2%から0.4ポイント微減となり、若干低下した。 （原因）主に国道209号を利用して通勤されている方が多く、右折車線がない交差点もあり渋滞が発生しているため、指標が低下していると考えられる。現在、交差点改良や道路新設等の交通の利便性向上のための関連事業を推進している。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

指標	生活道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【道路課】	75.3	65.0	67.0	75.3	☔ (低下)
評価	（状況）前年度65.0%から2.0ポイント増となり、若干向上した。しかしながら、基準値からは大きく下回っている。 （原因）前年度より若干の増加はあったものの、舗装の状態悪化や近年の集中豪雨による道路冠水など利便性・安全性への懸念により指標が低下していると考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

指標	河川・水路の整備状況に満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【水路課】	79.5	82.9	72.9	80.0	☔ (低下)
評価	（状況）前年度82.9%から10.0ポイント減となり、大きく悪化した。 （原因）頻発・激甚化する大雨により、市内各地で中小河川の氾濫等による浸水被害が発生していること、防災に関する市民の関心が高まっていることが悪化の原因と考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長(累計) (km) 【道路課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		3.4	4.4	4.9	6.4	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度1.0kmから0.5kmと減少し、年間目標値(1.0km/年)から低下した。 (原因) 国及び県では事業着手はしているものの用地取得が難航しているため、整備延長が伸びていない。					対前年度 ☂ (低下)
		目標達成度 ■■ (中)				

基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路補修・改良延長(累計) (km) 【道路課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		17.4	26.9	34.5	35.4	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度9.5kmから1.9km減少の7.6kmとなり、低下した。年間目標値(6.0km/年)に対しては達成している。 (原因) 道路改良予算は前年度比減だったが、年次計画に基づき、整備期間は長くなっているが、限られた予算で整備延長を伸ばしている。					対前年度 ☂ (低下)
		目標達成度 ■■■ (高)				

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率 (%) 【水路課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		73.8	72.0	72.5	75.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度から0.5ポイント増加し、概ね横ばい傾向で推移している。 (原因) 河川・水路の危険箇所の改修や緊急浚渫事業等の新規事業で市民の要望に応えた効果もあり、対応率は維持できたと考え。					対前年度 ☁ (横ばい)
		目標達成度 ■■■ (高)				

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数 (件) 【水路課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		17	79	6	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度の79件に対してR2年度は6件と大きく改善した。 (原因) 山ノ井川や花宗川の浸水対策工事、市営河川の緊急浚渫事業、水路河川の緊急自然災害防止対策事業などの効果もあり、浸水被害の箇所数が減少したと考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
		目標達成度 ■■■ (高)				

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 生活環境・自然環境の保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源除く）（g） 【かんきょう課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		481.6	490.6	496.8	460.0	☂ (低下)
評価	(状況) 増加している。 (原因) コロナ禍での家の片付け及び空き家片付けにより、粗大ごみの搬出量が増大した。家庭収集ごみは微減したが、粗大ごみが増加したため全体的に前年度より増加となった。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

指標	生活環境に関する苦情解決率（過去3年平均）（%） 【かんきょう課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		84.1	87.1	95.2	95.0	☀ (向上)
評価	(状況) H30 81件/84件 96.4% H31 97件/100件 97.0% R02 126件/135件 93.3% 計 304件/319件 95.2% (原因) 原因者への迅速な対応や啓発により3年平均では向上。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

指標	市内の自然環境に満足している市民の割合（%） 【かんきょう課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		92.3	87.7	89.0	93.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 向上した。 (35+ 107+ 328) / 528 = 89.0% (原因) 若干の向上である。水洗校区においては100%が「ふつう」以上になっており、筑後広域公園等の自然環境整備の効果がみられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中)(項目) 【かんきょう課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		2.4	2.5	2.8	3.0	☀️
評価	(状況) 1591項目/568人=2.80 (原因) 令和2年7月から国の施策としてレジ袋の有料化がスタートしたこともあり、市民のごみ減量化への意識にプラスの効果があったと推測される。					対前年度 ☀️ (向上)
		目標準達成度 ■■■ (中)				

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	リユースを意識して行動している市民の割合(%) 【かんきょう課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		40.9	35.8	28.7	45.0	☔️
評価	(状況) 163人/568人 = 28.69% (原因) 比較的安価で製品が購入できることにより、リユースより新製品の購入を選ぶ市民が増えていることが考えられる。					対前年度 ☔️ (低下)
		目標準達成度 ■■■ (低)				

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	資源化(リサイクル)率(%) 【かんきょう課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		18.6	16.5	14.2	22.0	☔️
評価	(状況) 資源ごみ収集量 1,223 t 集団回収収集量 208 t 家庭ごみ総排出量 10,086 t (1,223+208)/10,086=14.18% (原因) 資源ごみ収集量は、昨年比44t増えたが、家庭ごみ総排出量が昨年比245t増えた結果リサイクル率は減少した。					対前年度 ☔️ (低下)
		目標準達成度 ■■■ (低)				

基本事業02 環境にやさしいライフスタイルの実践

指標	地球温暖化防止に役立つ生活を実践している市民の割合(%) 【かんきょう課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		35.3	34.7	34.2	40.0	☔️
評価	(状況) 194人/568人 = 34.15% (原因) 「近い場所への移動は自動車を料しない」「照明器具はLED型にしている」「再生可能エネルギーを利用している」を選択している割合が減っているため、微減となったとみられる。					対前年度 ☁️ (横ばい)
		目標準達成度 ■■■ (低)				

基本事業03 生活環境の改善

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【かんきょう課】	81.8	86.6	93.5	95.0
評価	(状況) H30 33件 / 34件 97.1% H31 47件 / 49件 95.9% R02 36件 / 41件 87.8% 計 116件 / 124件 93.5%					対前年度
	(原因) R2年度は低下している。申し出内容は遠方の所有者が多く、また高齢化もあり対応に苦慮している。					☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 生活環境の改善

指標	ペット、野焼、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【かんきょう課】	29	41	93	25
評価	(状況) ペット 4件 野焼き 38件 騒音 9件 悪臭 4件 水質 14件 その他 24件 合計 93件					対前年度
	(原因) 宅地化が進み、農業による野焼きの通報が多くなった。					☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 生活環境の改善

指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【かんきょう課】	34	26	32	32
評価	(状況) 前回と比較し増加している。 (原因) 不法投棄を根絶することは困難である。ここ数年は30件前後の件数で推移しており、令和2年度においても同程度の件数であった。従前から啓発活動は行っているが、目立った効果は見られない。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	農業所得者の総所得金額（百万円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値																				
		【農政課】	866	866	944	900	☀️ (向上)																			
評価	R02実績値は、R01の税務情報	(百万円)				☀️ (向上)																				
	(状況) 令和元年分の総所得金額が前年と比べ7800万円増加している。(現時点ではR2年分税務情報取得できないため) (原因) 総所得金額1000万円超の高額所得者が前年の0人から2人(果樹農家)に増えるなど、主に果樹農家の所得が増加し、結果、全体的に所得額が増加傾向となった。	<table border="1"> <caption>農業所得者の総所得金額 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>866</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>866</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>944</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>900</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	H30	866	-	H31	866	-	R02	944	-	R04	900	900	R05	-	-	R06	-	-
年度	実績値	目標値																								
H30	866	-																								
H31	866	-																								
R02	944	-																								
R04	900	900																								
R05	-	-																								
R06	-	-																								
						🏰 (達成)																				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積 (ha)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【農政課】	190.5	195.1	193.5	190.5
評価	(状況) 前年比0.8% (1.6ha) が減少している。					☀️ (向上)
	(原因) 梨の面積減少が主な原因であるが、梨からブドウへの作物転換が進んでいるためである。一時的な減少で、次年度以降の園芸作物栽培面積確保への影響は少ないと考えている。					☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額 (百万円)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【農政課】	24,531	24,427	22,948	25,000
評価	(状況) 前年比6% (14億8千万円) 程度販売額が減少している。					☔️ (低下)
	(原因) コロナ禍の影響でイベント中止、冠婚葬祭などの生活様式の変更等により、主に花卉及び茶は需要が大幅な減少となったが、年度後半には需要が回復傾向に転じている。					🏠 (高)
						🏰 (達成)

基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【農政課】	72.3	75.1	74.7	74.0
評価	(状況) 前年比0.4% (約16ha) 減少している。					☔️ (低下)
	(原因) 個人認定農家の高齢化を要因とした経営面積の縮小によるもの。					🏰 (達成)
						🏰 (達成)

基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数 (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【農政課】	4	10	18	19
評価	(状況) 令和2年度8人の新規就農者を確保できた。					☀️ (向上)
	(原因) JA就農支援センター及び先進農家の協力、JA管内の関係機関連携による新規就農支援対策会議により就農希望者を受入れる体制は確立されている。					🏠 (高)
						🏰 (達成)

基本事業03 農用地と営農環境の保全

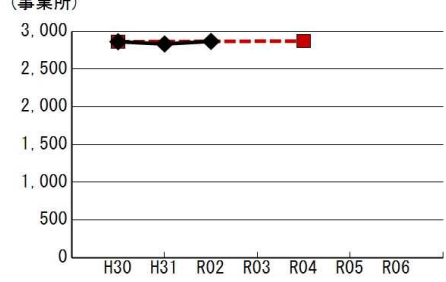


指標	遊休農地面積 (ha)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値																					
		【農業委員会事務局】	18.7	15.1	14.3	18.3	(横ばい)																				
評価	<p>(状況) H31の15.1haより減少となった。 (原因) 住宅地等の需要により荒廃農地の転用が進んだ事によるものである。 遊休農地は、農家の高齢化や後継者不在などで解消困難なケースが多く、生産性の低い農地で新規発生も生じており、新たな発生を抑制・防止する対策が重要である。</p>	<table border="1"> <caption>遊休農地面積 (ha) の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (ha)</th> <th>目標値 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>18.7</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>15.1</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>14.3</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>-</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>-</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-</td> <td>18.3</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (ha)	目標値 (ha)	H30	18.7	18.3	H31	15.1	18.3	R02	14.3	18.3	R04	-	18.3	R05	-	18.3	R06	-	18.3	対前年度
		年度	実績値 (ha)	目標値 (ha)																							
H30	18.7	18.3																									
H31	15.1	18.3																									
R02	14.3	18.3																									
R04	-	18.3																									
R05	-	18.3																									
R06	-	18.3																									
						目標達成度																					
						(中)																					

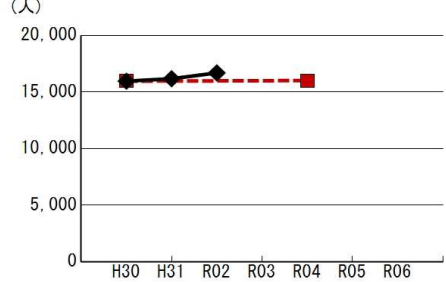


政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内事業所数（事業所）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	2,862	2,832	2,866	2,870
評価	(状況) 前年度が減少値であったため、向上しているが、市内事業所が大幅に増えることは難しい。 (原因) コロナの影響があり業種によって事業所数の増減があると思われる。結果、対前年度では増加、対基準値では横ばいとなった。	(事業所) 				対前年度
		 (向上) 目標達成度  (高)				

指標	市内従業員数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	15,949	16,164	16,678	16,000
評価	(状況) 毎年、500人前後で増加しておりR2で目標値を上回った。 (原因) 新規創業者が毎年11件程度例年通りあっている。また、南部地域の雇用情報によると求人倍率は月平均0.89まで落ちたが従業員数は伸びており、数値向上の原因はつかみかねている。	(人) 				対前年度
		 (向上) 目標達成度  (達成)				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	企業誘致件数(累計) (事業所)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	2	2	0	5	☔ (低下)
評価	(状況) 企業の動きが鈍くなっている。 (原因) コロナ感染症の影響で企業側の進出計画も様子見となっていると思われる。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	資本金1億円を超える事業所数 (事業所)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	138	134	140	138	☁ (横ばい)
評価	(状況) コロナ禍にかかわらず微増となっている。 (原因) 資本金1億円を超える事業所では、コロナの影響もあっているだろうが、事業所数は微増である。コロナの影響は数字上はあまり出てきていない。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (高)

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所の割合) (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	48	40	39	50	☔ (低下)
評価	(状況) 大幅に数値が低下している。 (原因) コロナの影響により収益が悪化した会社が増えたと推測する。 目標50%に対して実績39%であるが、数値の向上が目標のため達成度は未達成で(低)としている。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	日用品を市内で買っている市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	83.2	82.7	83.4	83.2	☁ (横ばい)
評価	(状況) 市内で日用品を購入している人は多いが、そのほとんどが商店街ではなく、大型スーパーやコンビニで購入している。 (原因) 現代は時間に追われる人が多いため、1カ所で買い物完結するような大型スーパーやコンビニで購入している。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (達成)

基本事業03 創業・事業開発への支援

指標	創業・新規事業進出件数（累計）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【商工観光課】	31	39	11	67
評価	(状況) 平成31年度は8件で少なかったが平成31年度以外は近年11件程度で推移している。 (原因) コロナ禍であるが事業計画を立て見込みを持って事業を始める一定の新規創業者がいる。					(横ばい)
		(達成)				

基本事業04 雇用の安定と確保

指標	合同会社説明会・面談会来場者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【商工観光課】	50	47	-	100
評価	(状況) 合同会社説明会を中止とした。 (原因) コロナ感染症が拡大していたため。					(比較不可)
		(---)				

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数（千人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【商工観光課】	1,083	959	-	1,150
評価	(状況) 実績値未集計 コロナの影響により長期休業等、実績値がまだ取得できていない施設がある。9月までには取得したい。 (原因) コロナ感染症拡大による。	(千人) 				対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	市内観光イベントの来場者数（百人） 【商工観光課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		1,362	659	0	1,285	☂ (低下)
評価	(状況) 指標全イベントが中止となった。 (原因) コロナ感染症拡大によるもの。					対前年度 ☂ (低下)
		目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)				

基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	HAWKSベースボールパーク筑後の平均観戦者数（人） 【商工観光課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		2,001	2,075	968	2,200	☂ (低下)
評価	(状況) 著しく減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開幕延期・無観客試合・入場制限の措置が順次とられ、入場させることができなかったため。					対前年度 ☂ (低下)
		目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)				

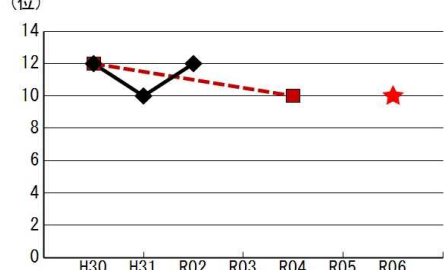


基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（百人） 【商工観光課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		6,547	6,103	-	7,205	(比較不可)
評価	(状況) 一部の実績値が未取得であり、評価できていない。 コロナ感染症拡大により、実績値がまだ取得できていない施設がある。9月までには取得したい。 (原因)					対前年度 (比較不可)
		目 標 達 成 度 (---)				

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光プロモーションによるメディア露出件数（件） 【商工観光課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		478	212	407	500	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度からは数値の向上はしている。 (原因) コロナ禍ではあるが特殊な要因があったためと思われる。人気漫画「鬼滅の刃」の聖地として、溝口竈門神社（10月～）が注目された。KBCテレビ・ラジオの「ふるさとWish」で筑後市が1週間紹介されたことなどメディアへの掲載が多かった。					対前年度 ☀ (向上)
		目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)				

基本事業03 観光情報の発信


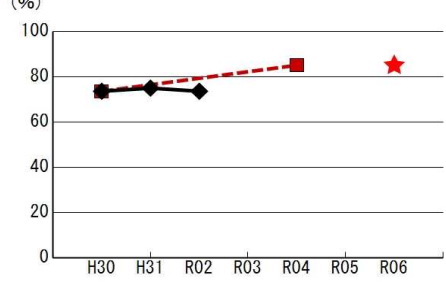


指標	観光意欲度の県内順位（位）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【商工観光課】	12	10	12	10
評価	(状況) 前年から低下した。 (原因) 少しずつ順位をあげてきたが、コロナの影響もあり、 プロモーション事業が十分にできていない。	(位) 				対 前年度
						 (低下) 目 標 達 成 度  (低)


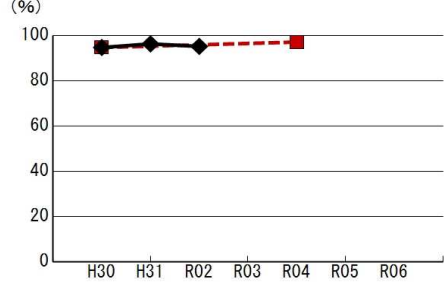


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

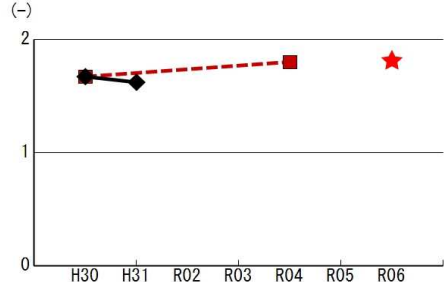
施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【子育て支援課】	73.5	74.9	73.5	85.0	
評価	(状況)前年度より1.4p低下 (原因)まちづくりアンケートでは、不満と考える理由として、他市町に比べ出産祝金等の支援が少ない、小中学生の医療費がかかる、子どもが安心して遊べる公園が少ない、などがあげられている。					対 前年度
						 (低下) 目 標 達成度  (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【子育て支援課】	94.6	96.2	95.1	97.0	
評価	前年比-1.1ポイント、基準値比+0.5ポイント。増減はあるが、95%以上を推移しており順調であると考え。					対 前年度
						 (低下) 目 標 達成度  (低)

指標	合計特殊出生率(-)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	1.67	1.62		1.80	(---)
評価	(状況)筑後市の数値は、まだ算出できません。全国1.34、福岡県1.43 (原因)					対 前年度
						(---) 目 標 達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数 [新規実人数] (件)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	8	10	11	
評価	前年比1件増加。虐待まではいかないまでも、コロナ禍による外出自粛や様々な制約のある生活により、ストレスや生活困窮などの相談は増えており子育て家庭への影響は出ていると考えられる。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業02 ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数 (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	11	12	16	19
評価	(状況) 数値は向上を続けている。 (原因) 制度周知の取り組みにより必要とされる方が利用できていると考える。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (4月) (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	18	5	0	0
評価	(状況) 目標の「待機児童解消」を達成した。 (原因)					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (10月) (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	15	4	0	0
評価	((状況) 目標の「待機児童解消」を達成した。 (原因)					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	学童保育所の待機児童数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	43	46	20	0
評価	(状況) 待機児童数は前年度よりも減少したが、複数の校区でいまだ少しずつ発生している状況である。 (原因) 各校区ごとでは(学校再編等の事情により)個別対応では難しい現状であるため、市全域をフォローする仕組みの構築が必要である。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (中)

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	一時的な保育ニーズに対応できなかった件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	不明	11	0	0
評価	(状況) 施設ごとに「保育ニーズのばらつき」こそあったものの、市全体としては対応できる体制を整えることができた。 (原因)					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	89.7	90.0	90.18	93.0
評価	(状況) 微増であるが過去2年増加傾向にある。 (原因) 受診勧奨等により高い乳幼児健診の受診率を維持している。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (低)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	88	91.1	89.6	90.0
評価	目標値を達成した前年比ではわずかに減少したが、基準値比1.6増加、目標値まで0.4であることから順調と考える。健診等で把握した対象者へ支援を行っている。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ☔️ (低下) ■ (高)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	保護者一人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関））	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	1.5	1.66	1.57	1.7	(横ばい)
評価	減少傾向。コロナ禍で行動や外部とのコミュニケーションが制限される中、子育て親子の不安や悩みは増加傾向にあると思われるが、それに反して感染拡大防止のため、子育て親子へのアプローチの機会は減ってしまっている。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

基本事業05 子どもの健やかな成長の支援

指標	低出生体重児の出生率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【子育て世代包括支援センター】	11.3	9.39	8.3	10.0	(向上)
評価	（状況）H30年度11.3％、H31年度9.3％より目標値を達成していた。ただH29年度は7.3％であった。 （原因）低出生体重となる要因はさまざまであるため、増減があると思われる。長いスパンの中で減少傾向にあるか見ていく。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業05 子どもの健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【子育て世代包括支援センター】	87.5	73.9	93.3	90.0	(向上)
評価	（状況）令和2年度は精密検査対象者15人中、14人が受診している。丁寧な受診勧奨を行ったことで、H31年度との比較で、4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児いずれの健診においても受診率の向上につながった。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業06 家族形成の支援

指標	若年層有配偶者率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	51.4	51.4	51.5	51.0	(横ばい)
評価	（状況）前年度から0.1ポイント上昇しており堅調に推移している。 （原因）					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	191.1	124.6	104.8	160.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べ死亡者数が減少傾向にある。目標値を達成している。 (原因) 計画継続					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	75歳未満の三大死因死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	207.1	133.6	129.1	150.0	☀ (向上)
評価	(状況) 三大死因による死亡者数は減少傾向にある。 (原因) 計画継続					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取り組み項目数(11項目中) (項目)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【健康づくり課】	4.8	4.4	4.6	5.8
評価	(状況) 昨年度と比較し、数値は向上傾向だが、令和4年度の目標値にむけ更なる取り組みが必要となる。 (原因) コロナ禍で健康教育事業が予定通りにできなかった。また、健康に関心が薄い方に対するの周知が進まないことが原因の一つと考える。					対前年度
		(向上)	目標達成度	(高)		

基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症による新規透析導入者数(人口10万人当たり) (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【健康づくり課】	8.1	24.3	2.02	6.1
評価	(状況) 平成31年度の糖尿病性腎症による新規透析導入者8名、令和2年度は1名であった。 (原因) 医療の進歩によるものと、生活習慣病の早期発見・早期対応するための特定健診・特定保健指導の実施による。					対前年度
		(向上)	目標達成度	(達成)		

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【健康づくり課】	42.3	42.0	37.9	56.0
評価	(状況) コロナ禍で健診控えがあり、特定健診受診率は低下した。 (原因) 医療機関検診は例年どおり6~10月に実施したが、緊急事態宣言等の影響で集団検診は6月に実施できず1,2月に行った。スケジュールが例年と異なったことや、訪問勧奨を控えたことで、受診率が低下した。					対前年度
		(低下)	目標達成度	(中)		

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【健康づくり課】	41.0	40.3	38.9	50.0
評価	(状況) コロナ禍で健診控えがあり、がん健診受診率は低下した。 (原因) 医療機関検診は例年どおり6~10月に実施したが、緊急事態宣言等の影響で集団検診は6月に実施できず1,2月に行った。スケジュールが例年と異なったことや、健診控えにより、受診率が低下した。					対前年度
		(低下)	目標達成度	(高)		

基本事業03 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	10.1	10.1	12.2	10.0	☔ (低下)
評価	(状況)自殺率が増加している。 (原因)コロナの影響による雇用の悪化や、日常生活が一変し、他人との接点が少なくなって孤独を感じたり、社会的、経済的に孤立したりする人が増えたのも一つの原因として考えられる。	(人) 				対 前年度
		☔ (低下)				
		目 標 達 成 度 				目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業04 地域医療体制の充実

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	81.0	81.5	76.3	85.0	☔ (低下)
評価	(状況)前年度より5.2ポイント低下。 (2年度557人中425人。H31年度534人中435人。) (原因)指標値が大きく低下する原因を特定することは困難であるが、コロナ禍での受診控えが進み、「かかりつけ医」を持っていると意識している市民の割合が低下したのではないかと想定している。	(％) 				対 前年度
		☔ (低下)				
		目 標 達 成 度 				目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業04 地域医療体制の充実

指標	筑後市立病院における救急車受入割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	97.4	98.4	95.8	97.0	☔ (低下)
評価	(状況) (原因)新型コロナウイルス患者の入院診療を優先するために稼働病床を制限した影響などから応需率が2.6ポイント低下。筑後市消防からの搬送数及び搬送率も 105人（2.6ポイント）となっている。【H31：965人（50.9％）、R2：860人（48.3％）】	(％) 				対 前年度
		☔ (低下)				
		目 標 達 成 度 				目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業05 国民健康保険財政の健全運営

指標	国民健康保険1人当たり医療費（円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	409,274	414,648	413,114		☀ (向上)
評価	目標設定上の医療費の伸び率（2.41％）では H30 419,137 H31 429,238 R2 439,583 R3 450,177 R4 461,026（目標値）となる。 目標上の医療費の伸び率を下回っている。	(円) 				対 前年度
		☁ (横ばい)				
		目 標 達 成 度 				目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

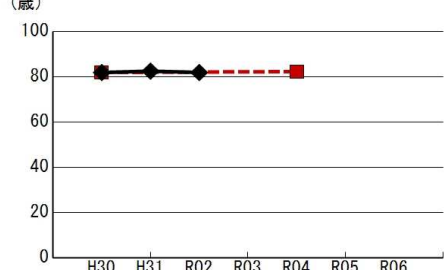


指標	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合（％） 【高齢者支援課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		96.9	97.0	96.6	97.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より0.4ポイント低下し、基準値と比較し、0.3ポイント低くなった。目標値を0.4ポイント下回った。 (原因) 65歳から74歳のうち、要介護2以上の比較的介護度が高い認定者の割合が増えている(昨年度比+0.3ポイント)					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

指標	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合（％） 【高齢者支援課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		83.9	84.7	84.8	83.8	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より0.1ポイント増加、基準値と比較し0.9ポイント高くなった。目標値を1.0ポイント上回った。 (原因) 75歳から84歳のうち、要介護2以上の比較的介護度が高い認定者の割合が減少した。(昨年度比-0.2ポイント)					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

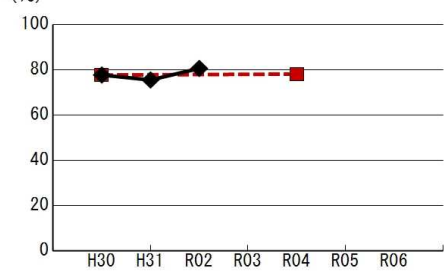


指標	適切な介護サービスが受けられなかった件数（件） 【高齢者支援課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		0	0	0	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 介護事業所に対する文書による指導はなかった。 (原因)					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

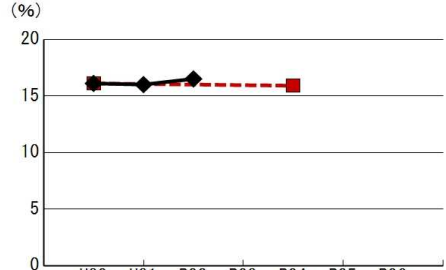


基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	81.8	82.4	81.8	82.2
評価	(状況) 昨年度と比較し0.6ポイント低下、基準値と同数となった。 (原因) 新規認定者のうち75歳未満の被保険者の割合が増加している。					対 前年度
		 (低下)	目 標 達成度	 (中)		

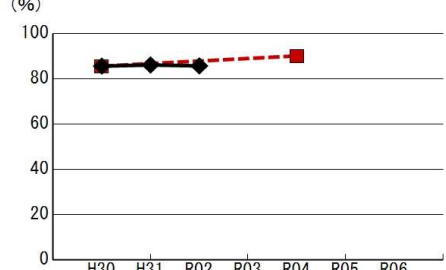


基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	要介護等状態区分が維持又は改善した者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	77.6	75.4	80.5	78.0
評価	(状況) 前年度比5.1pt増、基準値より2.9pt高く目標値を2.5pt上回った。 (原因) 改善の割合は減少したが維持の割合が大きく向上し全体として向上。認定有効期間が延長され昨年度同時期の介護度と比較し維持となった人の割合が増加したと推測される。数値上は向上だが今後の推移を注視する必要あり。					対 前年度
		 (向上)	目 標 達成度	 (達成)		

基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	16.1	16.0	16.5	15.9
評価	(状況) 昨年度と比較し、0.5ポイント増、基準値より0.4ポイント高くなり、目標値との差が0.6ポイントとなった。 (原因) 65歳から74歳、85歳以上の認定率が増えている。					対 前年度
		 (低下)	目 標 達成度	 (低)		

基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある高齢者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【地域包括支援センター】	85.5	86.0	85.6	90.0
評価	(状況) 前年度から0.4ポイント低下した。基準値からは0.1ポイント上回っている。 (原因) 相談先としては家族が最も多く、友人、知人、相談窓口が挙げられている。低下した一因として、コロナ禍で地域包括支援センターの周知活動が十分にできなかったことがあると考える。					対 前年度
		 (低下)	目 標 達成度	 (中)		

基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【地域包括支援センター】	10	6	11	
評価	(状況) 前年度より5件増えている (原因) 子からの虐待 51.8%、配偶者からの虐待 39.6% 虐待の類型は心理的虐待、身体的虐待、ネグレクトの順で多く、傾向は変わらない。					(比較不可)
		対 前年度	(比較不可)	目 標 達成度	(---)	

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスの登録者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	365	418	373	385
評価	(状況) サービス利用者が前年度比45人減少。(原因) 外出支援・緊急通報・給食・生きがいサービスの利用が減少。外出支援と緊急通報は新規希望者がほぼ無く、給食サービスは入院・入所・死亡による廃止が多かった。生きがいサービスは利用者の増加が続いていたが、コロナ発生後、利用者が減少に転じた。					☔️ (低下)
		目 標 達成度	■ ■ ■ (低)			

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行うボランティア・NPO等団体数（団体）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	5	6	8	8
評価	(状況) ミニ自動車走らせる地域が2カ所増えた。 (原因) 日常生活支援サービスを行うボランティア団体はなかなかできない中で、移動手段は地域課題として取り組む必要があると、自ら判断し取り組み始める地域が増えた。					☀️ (向上)
		目 標 達成度	🏰 (達成)			

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護等認定者のうち、在宅サービスを利用している者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	63.1	60.9	62.7	65.6
評価	(状況) 前年度と比較して1.8ポイント上昇した。 (原因) 要介護等認定者は前年より83人増、在宅サービス利用者は93人増となっているが、施設サービス利用者は7人減となっている。					☀️ (向上)
		目 標 達成度	(---)			

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	地域密着型事業所の利用定員数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	211	208	217	240	☀ (向上)
評価	(状況) 令和3年3月にグループホーム1事業所(1ユニット:9床分)開設 (原因) 第7期介護保険事業計画では、グループホーム2ユニット(18床)の整備計画だったが、市内事業所へのアンケートや利用状況等を調査・検討し、1ユニット(9床)の整備とした。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ (高)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用

指標	介護保険1人当たりの給付額(月額)（円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	20,190	20,131	20,186		☀ (向上)
評価	(状況) 前年より55円上昇。基準値より4円減。 (原因) 被保険者数は前年より153人増、給付費は45,851,363円増えた。コロナ禍で訪問系のサービスや短期入所サービスが伸びている。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						(...)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用

指標	後期高齢者1人当たり医療費(年額)（円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	1,256,107	1,183,091	1,215,857		☁ (横ばい)
評価	当該年度の実績値の取得時期は10月末です (状況) 昨年度(H30年度実績)より2.77%増加した (原因) 令和元年度レセプト情報によると、骨折と骨粗しょう症による入院費や脂質異常症での通院費が増えている					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	在宅生活をしている65歳未満の障害者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	92.9	92.9	92.0	93.0
評価	入所者数は、H31年度末82名 R2年度末84名と微増。 施設入所にあたっては、入所が必要か相談支援事業所が中心となったケース会議で検討して決定している。 システムの変更(Wel+)により、手帳の集計の条件が変更（死亡者数を除く）となったため所持者数が減少、実績値にも影響している。					対前年度
						☔ (低下)

指標	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	713	706	702	741
評価	新型コロナウイルスの感染拡大予防の対策による2度の緊急事態宣言の影響が大きい。余暇活動のための外出の機会が減ったことにより実績値も減少したが、社会参加のためには必要なサービスである。					対前年度
						☔ (低下)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援の促進

指標	介護給付（在宅サービス）・訓練等給付・障害児通所支援の自立支援給付利用件数（延べ数）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	9,702	10,372	10,004	10,096
評価	新型コロナウイルスの影響により、施設側が感染予防対策のため短期入所の受け入れを中止や制限等をしたため、利用件数が減った。就労系サービスについては在宅ワークに切り替えたケースもあったため、大きく減少には至っていない。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業02 地域生活支援の促進

指標	地域生活支援事業の延べ利用件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	16,506	15,585	14,869	16,600
評価	地域生活支援事業においても、移動系のサービスへの新型コロナウイルスの影響が大きく、移動支援サービス、重度障害者移動支援事業については利用件数が減少した。地域生活支援拠点センターすいれんについて、設置から3年目となり相談件数が増えた。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業03 障害者（児）の人権擁護

指標	障害者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	0	0	2	0
評価	R2年度については、2件を障害者虐待として対応した（養護者による虐待1件、施設従事者による虐待1件）。虐待防止への意識及び知識を深めるため、自立支援協議会の全体会において障害者虐待についての研修を行った。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

生活困窮者の自立

施策の成果状況と評価

指標	自立した世帯数（世帯）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【福祉課】	24	12	16	27
評価	一端就労しても、本人の健康状態、就労意欲の起伏等により、離職するケースもみられるため、就労後の支援等も必要となる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	自立支援プランで改善が見られた者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【福祉課】	78.6	75.0	48.7	85.0	☔ (低下)
評価	自立支援プランを作成した支援者数がコロナ禍の中、昨年度の10倍となった。 感染状況、国の緊急事態宣言発令等の状況による経済活動の停滞等もあり、すぐに就労に繋がらなかったケースが多かった。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【福祉課】	194	191	185		(比較不可)
評価	(状況) 数値としては減少しているが、困窮世帯に対する各種施策の拡大により、保護受給にまでは至らなかったものと考えている。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(...)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	93.5	94.7	92.4	94.0	☔ (低下)
評価	(状況) 入居率が減少した。 (原因) 玄ヶ野団地4・5階及び井田団地特公賃住宅の応募が少なく空屋が増加したため。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	501	489	489	489	☁ (横ばい)
評価	(状況) 住宅管理戸数に変更は無いが、既に目標値には達している。 (原因) 建替え工事等の実施が無いため、実績値に変更はない。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						☁ (達成)

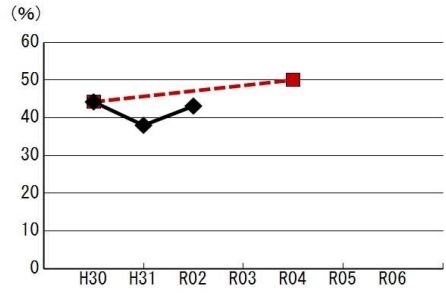


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

地域福祉の連携

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で支え合っていると思う市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	44.2	38.0	43.1	50.0
評価	社会福祉協議会による地域福祉活動の醸成がなされ、その効果が表れてきているのではないかと考える。					対前年度
						 (向上)
						目標達成度
						 (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	近隣とのコミュニケーション、交友関係が構築されていると思う市民割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	57.7	43.1	47.6	60.0
評価	(状況) (原因) 地域活動の推進により、意識の醸成へと繋がりは始めているのではと考える。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	福祉ボランティア団体、NPO法人の構成員数 (人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	734	718	718	750
評価	(状況) (原因) 団体構成員数が申告制となっており、変更申請がなされない限りそのままとなっている。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	8.6	7.0	6.6	10.0
評価	(状況) (原因) コロナ禍の中、社協事業である地域福祉事業が縮小・中止されたことによる影響なのではと考える。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						■■ (中)

基本事業02 支え合いの仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数 (件)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	3,590	3,405	3,199	3,590
評価	コロナ禍の中、訪問数も減り、相談件数もそれに伴い減少したのではないかと考えられる。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業02 支え合いの仕組みづくり

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【福祉課】	4,026	4,274	2,371	4,227
評価	コロナ禍の中、社会福祉協議会が実施する活動も制限を受け、事業の中止や縮小などで参加者が減少した。	(人)				対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	82.6	81.3	78.4	83.0	☂ (低下)
評価	(状況) (原因)新型コロナウイルス感染症の影響で多くの学校行事等 が行えなかったこともあり、学校行事をやり遂げることで児童 が自分に自信を持つ機会を設けられなかったことが影響してい る可能性がある。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

指標	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	68.7	65.6	70.8	72.0	☀ (向上)
評価	(状況) (原因)中学校における授業改善や学力向上の取り組みが少し ずつ前進していることを示している可能性がある					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)

指標	学校教育(小・中学校)に満足している保護者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	74.3	75.4	71.4	80.0	☂ (低下)
評価	(状況) (原因)新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者が学校に 足を運び、直接、学校現場を見る機会が大幅に減ったことが影 響している可能性がある。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値（H30）	実績値（H31）	実績値（R02）	目標値（R04）	対基準値
		【学校教育課】	103.2	102.8	-	103.0
評価	新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校のため全国学力・学習状況調査は未実施。今後どのような力が求められているのかという視点で学力調査問題を分析し、日々の授業づくりに活かしていくことが必要である。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値（H30）	実績値（H31）	実績値（R02）	目標値（R04）	対基準値
		【学校教育課】	96.3	93.4	-	100.0
評価	新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校のため全国学力・学習状況調査は未実施。今後どのような力が求められているのかという視点で学力調査問題を分析し、日々の授業づくりに活かしていくことが必要である。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の決まりを守っている小学6年生の割合（％）	実績値（H30）	実績値（H31）	実績値（R02）	目標値（R04）	対基準値
		【学校教育課】	89.4	93.2	89.6	90.0
評価	H31年度と比較すると3.6ポイント下降している。新型コロナウイルス感染拡大防止の中、様々な学校行事が中止又は縮小する中、自尊感情を高めることができにくかったのが原因である可能性がある。					(横ばい)
		対前年度	(横ばい)	目標達成度	■ (中)	

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学校6年生の割合（％）	実績値（H30）	実績値（H31）	実績値（R02）	目標値（R04）	対基準値
		【学校教育課】	91.3	94.5	91.6	93.0
評価	H31年度と比較すると2.9ポイント下降している。新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校等で、生活のリズムが変化したことが原因である可能性がある。保健や家庭科等で朝食の大切さを学ぶ学習と日々の声掛けを行う必要がある。					(横ばい)
		対前年度	(横ばい)	目標達成度	■ (中)	

基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の規則を守っている中学3年生の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	91.8	92.6	97.5	93.0	☀️ (向上)
評価	H31年度と比較すると4.9ポイント上昇し、目標を達成している。 中学校における生徒指導事業の成果とともにスクールソーシャルワーカー配置事業等を通じて生徒の問題行動への対応を行った成果であると考えられる。					対前年度
						☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	90.4	89.3	89.6	92.0	☁️ (横ばい)
評価	H31年度と比較すると0.3ポイントの上昇であるが、目標値とはまだ開きがある。 保健指導や家庭科等の学習で朝食を食べることの大切さについて考えさせる学習を行うとともに、日々の声掛けを行う必要がある。					対前年度
						☁️ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	102.2	97.8	-	103.0	(比較不可)
評価	新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校のため全国体力・運動能力調査は未実施。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため運動や遊びについても制限があるので、体育の学習等に感染防止対策をした工夫した運動を取り入れることが必要である。					対前年度
						(比較不可) 目標達成度 (---)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	101.7	101.2	-	102.0	(比較不可)
評価	新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校のため全国体力・運動能力調査は未実施。 体育の学習に感染防止対策をした工夫した運動を取り入れることが必要である。					対前年度
						(比較不可) 目標達成度 (---)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	コミュニティ・スクール設置学校数(校)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	2	4	6	11	☀️ (向上)
評価	令和2年度は予定通り、筑後小、西牟田小の2校をコミュニティ・スクール化することができた。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標準達成度
						■■■ (高)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率(全国平均100とした場合)(過去3年平均)(pt)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	83.8	88.7		70.0	(比較不可)
評価	毎年不登校生徒の出現率は10~11月に公表。 ・H27~29の平均値=77.1 ・H28~30の平均値=76.9 ・H29~31の平均値=78.6 小中連携の取り組みや学校、スマイル、スクールソーシャルワーカー等関係機関の連携が一定効果を得ていると考える。					対前年度
						(比較不可)
						目標準達成度
						(...)

基本事業05 教育環境の充実

指標	学校維持管理及びセキュリティ管理における教育支障件数(件)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	15	4	7	15	☁️ (横ばい)
評価	・給食異物(施設関連1件) ・筑後小電話設備障害 ・羽中給食室停電 ・羽小グラウンド陥没 ・羽小正門横陥没 ・漏水(水田小トイレ、二川小トイレ)					対前年度
						☔️ (低下)
						目標準達成度
						■■■ (中)

基本事業05 教育環境の充実

指標	学校トイレの洋式化率(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【学校教育課】	29.4	30.98	61.67	70.0	☀️ (向上)
評価	令和2年度小中6校で洋式化改修を実施したことで、洋式化が進んだ。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標準達成度
						■■■ (高)

基本事業05 教育環境の充実

指標	小学校再編計画決定後の児童数100名未満の小学校数（校）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	3	0	0	0
評価	学校再編計画上、水田・下妻・古島小の再編校と水洗・古川小の再編により100人未満の小規模校は解消される。					対前年度
						目標達成度
						(高)

基本事業05 教育環境の充実

指標	電子黒板等設置割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	31.7	32.5	83.01	50.0
評価	新型コロナウイルス対策として、学校のICT化が進むなか、学校再開支援の財源を活用して各学校に電子黒板（大型モニター含む）の配置が急速に進んだ。					対前年度
						目標達成度
						(達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【社会教育課】	39.8	35.8	37.0	50.0
評価	(状況) 前年度よりは改善したが、基準値を下回っている。 (原因) コロナ禍による事業の中止が、指標値の低迷の遠因であると思われる。 一方、「どれくらいの頻度で運動・スポーツを行ったか」という質問には54.9%が「週1~2日以上」と回答しており、当指標値と齟齬がある。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

指標	学習効果を家庭・地域に活かしている市民割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【社会教育課】	25.3	32.7	17.3	28.0
評価	(状況) 基準値からも前年値からも大きく下がった。 (原因) コロナ禍により地域活動やボランティア活動が大きく制限されたためと思われる。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会が十分にあると思う市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	15.3	11.6	15.1	17.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年度の著しい低下からは若干持ち直したが、基準値まで回復していない。 (原因) 前年度からの回復はさておき、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業を休止したこともさることながら、背景として事業内容の定型化があるのではないかとと思われる。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (高)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	234,244	193,909	88,096	240,000	(低下)
評価	(状況) サザンクス筑後 27,270人 中央公民館(サコア) 30,200人 北部交流センター(チカス) 30,626人 合計 88,096人 (原因) コロナウイルスの影響により閉館していた期間があったため、減少した。					対前年度 (低下)
						目標達成度 (低)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	29.1	26.7	26.6	30.0	(低下)
評価	(状況) 平成31度は2.4ポイント減少し、令和2年度は横ばい状況 (原因) 6年間利用のない利用者のうち、伝言記載のない利用者を毎年除籍していた。平成31年度に伝言内容を精査し除籍したため、除籍者が多くなり、平成31年度は26.7%と減少した。令和2年度もコロナの影響もあり横ばい状況だった。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	51.8	49.8	54.9	50.0	(向上)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大による大会やイベントの中止や、施設閉鎖等の状況にも関わらず、目標値は達成できている。 (原因) 長期の自粛生活による健康被害への関心の高まりや個人での軽スポーツの実施が増えたのではないかと推測される。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (達成)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	30.3	25.8	17.5	40.0	☂ (低下)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大によるスポーツ大会やイベントの中止 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ施設が閉鎖され、多数の大会が中止となったため					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■ (低)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	8.0	5.3	6.1	8.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大によるスポーツ大会やイベントの中止 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ施設が閉鎖され、多数の大会中止や活動自体が制限されたため					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	福岡ソフトバンクホークス連携によるスポーツ関連事業参加者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	967	787	20	1,000	☂ (低下)
評価	(状況) 指標値取得に関係する事業の殆どが行えなかった。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から殆ど中止判断をしたため。 (中止) ・ファーム野球教室 ・ベースボールスタート事業（旧キャッチボールキャバソン） ・ベースボールスタート事業（旧IQ-HOKU） ・ジュニアスポーツチャレンジ (実施) ・スポーツ指導者講習会 20名					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■ (低)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	4	2	2	0	(比較不可)
評価	(状況・原因) ・船小屋ゲンジボタル発生地 1件（R2.7.8出水によるき損） ・水田天満宮本殿 1件（R2.9.3台風によるき損）					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	文化財施設・文化財事業の入場・参加者数(人)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【社会教育課】	8,443	8,413	1,458	8,600
評価	(状況・原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による事業中止等の影響で入場者数・参加者数が激減した。					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達成度	■ ■ ■ (低)		

基本事業04 青少年教育・体験活動の推進

指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【社会教育課】	90	95.3	なし	90.0
評価	(状況) (原因) コロナ禍のため友愛キャンプを実施できなかった。					対 前年度
		(比較不可)	目 標 達成度	(---) (---)		

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	男女が平等だと思う市民の割合 (%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	56.8	53.3	56.9	58.0
評価	(状況) 昨年との比較 学校75.1% 79.3% 職場40.5% 47.0% 家庭52.0% 51.6% 地域45.7% 49.6%					対前年度
	(原因) 学校での平等観は高いものの、職場、家庭、地域の低さは、アソシエーションの影響ではないかと考えられる。					目標達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合（過去3年平均）（％） 【男女共同参画推進室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		43.7	46.3	46.8	50.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 高度成長期頃から、社会的構造の変化により、夫だけが働き家族の経済的責任を負ってきた背景があった。しかし、経済成長が鈍化し、理想の生活をするには、夫婦共々働かなければならない状況になってきていることも要因ではないかと考えられる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率（％） 【男女共同参画推進室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		32.2	32.3	33.4	35.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) R2.4.1現在男性の割合が多かった筑后市福祉有償運送運営協議会が無くなったことも要因の1つと考えられる。審議会等の構成委員となる委員の選出団体には依然として男性役員の割合が高く、女性の登用が困難な事例もある。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	区長・公民館長の女性登用率（％） 【男女共同参画推進室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		4.5	5.3	5.3	6.3	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 世の中の労働環境の変化で、60歳過ぎても働く人が増え地域を男性だけでは担えない状況になりつつあるのではないかと考えられる。公民館行事では、子ども会等で培われた地域との繋がりを活かすことが出来るため、女性が参画しやすいと感じられるのではないかと考えられる。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数（件） 【男女共同参画推進室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		2	3	1		(比較不可)
評価	(状況) 件数は減った。 (原因) 女性の悩み相談電話等の件数はH31より若干増えており、重篤な状況になる前に相談により回避されている可能性も考えられる。重篤なDV被害者は直接警察や配偶者暴力相談支援センターに相談されることで、市において把握ができていない可能性もある。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 04 人権尊重と同和教育の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	23.0	26.7	24.2	22.0
評価	(状況) 前年度比 2.5ポイントの減少 (原因) 人権セミナー未実施の為、新型コロナに関して正しく理解するための啓発を広報等で実施。CM等では様々な新型コロナに関する人権啓発がされ、人権侵害等に関する情報を得る機会が増えたこと、12月の人権のつどいの実施等による。					対前年度
						☀ (向上)
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【人権・同和教育課】	23.2	19.9	25.3	30.0
評価	(状況) 12月の「人権を考える市民のつどい」が唯一の実施事業で、参加者198人中50人が初参加(25.3%)という状況。 (原因) 実施回数が1回なので、平均的な数字ではないが、講演内容やテーマに興味を持ったことで初めての参加者が増えたのではないかと。	(人) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ (中)

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」に対し「当てはまらない」と回答した中学3年生の割合（%）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【人権・同和教育課】	1.8	1.5	1.3	1.5
評価	(状況) 前年度比 0.2ポイント (原因) 学校における人権学習等の継続的な取組効果が大いと思われる。	(%) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価


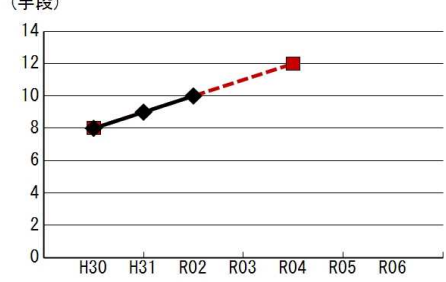


指標	被災世帯・事業所数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【防災安全課】	2	83	6	0
評価	令和2年7月豪雨にて床下浸水6件発生					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (低)

指標	災害による負傷者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【防災安全課】	0	0	0	0
評価	(状況) 令和2年度には大きな災害が発生しなかったこともあり負傷者数は0名					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)


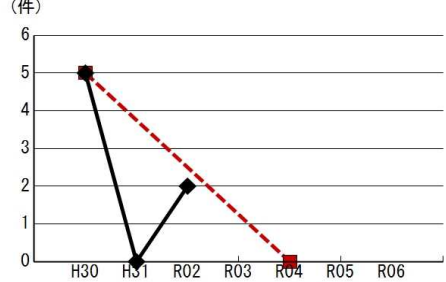


指標	災害による死亡者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【防災安全課】	0	0	0	0
評価	(状況) 令和2年度には大きな災害が発生しなかったこともあり死亡者数は0名					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価


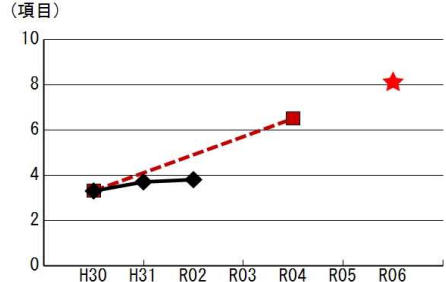


基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の提供手段数（手段）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	8	9	10	12	 (横ばい)
評価	(状況) 提供手段に「テレビデータ放送dボタン」が加わり10手段となる。					対前年度
						 (向上)
						目標達成度
						 (高)


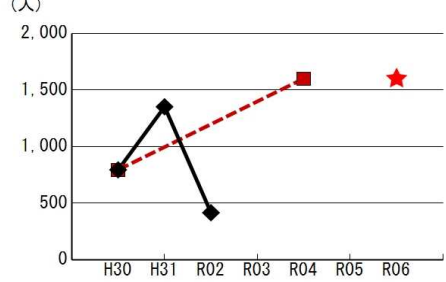


基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の維持管理上のトラブル件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	5	0	2	0	 (低下)
評価	(状況) 令和2年度落雷により子局2カ所で故障が発生					対前年度
						 (低下)
						目標達成度
						 (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	家庭での災害時の備えの取り組み項目数（13項目中）（項目）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	3.3	3.7	3.8	6.5	 (横ばい)
評価	(状況) 前年度から微増（0.1ポイント）となった。					対前年度
						 (向上)
						目標達成度
						 (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	地域での防災訓練及び講習会参加者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	794	1,351	415	1,600	 (低下)
評価	(状況) 大幅減となった。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大により、校区防災訓練の縮小や地域での防災講話が中止となった結果、参加者が減少した。					対前年度
						 (低下)
						目標達成度
						 (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	災害時個別支援計画が策定されている要援護者の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【防災安全課】	6.5	4.49	6.80	9.8
評価	(状況) 前年度より上昇したが、低調である。 (原因) 計画を必要とする新規対象者への計画策定の周知が災害対応に追われ、できなかった。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	■ ■ ■ (低)		

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時の支援体制の県基準未達項目数（2項目中）（項目）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【防災安全課】	0	0	0	0
評価	(状況) 県基準未達項目はなし。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	🏰 (達成)		

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【防災安全課】	83.6	86.0	95.7	100.0
評価	(状況) 災害の多発化で災害対応に携わる職員も増えてきたこともあり、理解度は年々向上していると思われる。					対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達 成 度	■ ■ ■ (中)		

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 02 安全な暮らしの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価


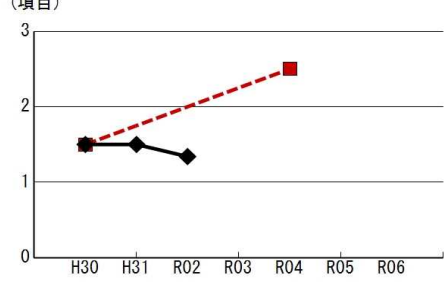


指標	市内の刑法犯認知件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	287	300	219	250	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から81件減少					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	316	268	234	250	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から34件減少					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)


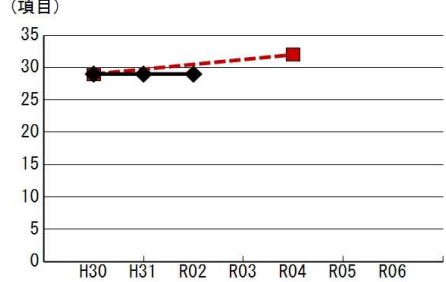


指標	交通事故死傷病者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	416	350	318	330	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から32件減少					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価


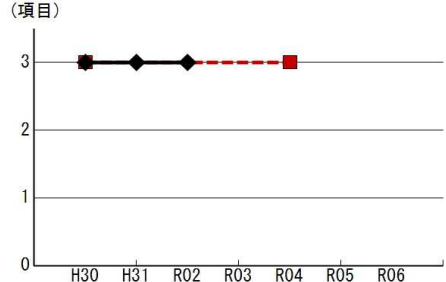


基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取り組み項目数（10項目中）（項目）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	1.5	1.5	1.34	2.5	
評価	(状況) 前年度から0.16ポイント低下、微減となった。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (低)


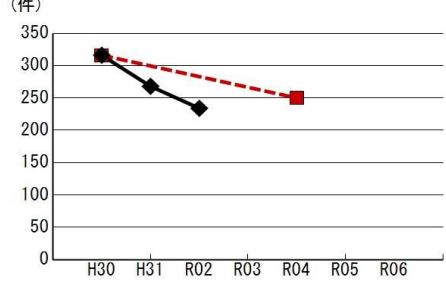


基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	29	29	29	32	
評価	(状況) 前年度から増減なし					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (低)

基本事業01 防犯対策の推進

指標	行政による防犯機能改善のための取り組み数（項目）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	3	3	3	3	
評価	(状況) 前年度から増減なし					対 前年度
						 (向上) 目 標 達成度  (達成)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	316	268	234	250	
評価	(状況) 前年から34件減少					対 前年度
						 (向上) 目 標 達成度  (達成)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【防災安全課】	6.6	7.0	5.03	6.0
評価	(状況) 前年から1.97ポイント減少 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出機会の減少や、シートベルトの着用者率の向上などの交通事故防止に対する取組が充実した。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	消費者相談の解決率（過去3年平均）（%）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	89.5	95.2	92.7	91.0
評価	(状況) 前年度より2.5ポイント低下 (原因)					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	クーリングオフを知っている市民の割合（%）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	79.3	76.6	74.9	82.0
評価	(状況) 前年度より1.7ポイント低下 (原因)					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏠 (高)

基本事業03 消費生活の安定

指標	特殊詐欺被害件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【防災安全課】	6	3	2	0
評価	(状況) 前年から1件減少					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (中)

基本事業04 青少年犯罪の抑制

指標	青少年の刑法犯数（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	11	3	12	5	(横ばい)
評価	市内の刑法犯件数は年々減少傾向にあったが、R2年度においては増加した。 県全体では刑法犯件数は1363件(R1)から1159件(R2)に減少したことから、推移を注視する。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	8	13	14	14	(向上)
評価	(状況) R2年度除却件数1件					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	39	51	55	69	(向上)
評価	(状況) R2年度成約件数4件					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(中)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	空き家バンク登録件数（累計）（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	80	102	120	140	(向上)
評価	(状況) R2年度登録件数18件					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(高)

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	火災による損害額（千円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【予防課】	38,158	4,110	8,746	1,736
評価	(状況) 火災件数は平成31年(7件)から令和2年(12件)で火災件数は5件増加し、それに伴い損害額も増加している。 (原因) 建物火災で2件、その他火災で3件増加している。中でも放火や、野焼きが増加しているのが要因である。	(千円) 				☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (中)

指標	市の消防や救急体制に満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【警防課】	96.1	91.5	94.1	97.0
評価	(状況) 数値は上昇。 (原因) 近年、防災に対する意識は高まっている。コロナ禍において、各種イベント・訓練指導等の出向の機会は激減し、消防アピールの場は減少するも、当署管内にて発生した災害への対応、救急及び火災件数が減少したこと及びその取り組みが評価・反映されたものと思慮される。	(％) 				☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【総務課】	44.0	45.5	39.2	45.0	☂ (低下)
評価	(状況) 45.5%から39.2%へ6.3%減少している。 (原因) 令和元年度と比較し、サラリーマン団員(被雇用者団員)が増加したためと推察する。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	消防訓練・防災講話等受講者数(人)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【警防課】	7,425	7,828	4,659	10,000	☂ (低下)
評価	(状況) 数値は減少 (原因) コロナ禍により、当署が出向を行っていないこと及び各事業所等団体がコロナ蔓延防止の観点より団体での事業等を行わず、消防訓練自体も実施していない。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■ (低)


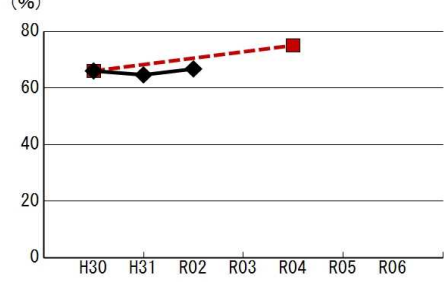


基本事業02 防火意識の高揚

指標	人口1万人あたりの火災件数(件)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【予防課】	4.1	1.4	2.4	2.7	☀ (向上)
評価	(状況) 火災件数は昨年比で5件増である (原因) 建物火災、その他火災(野焼きからの延焼)が増加している。原因については人的災害であり、防止できる火災であるといえる。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■■ (高)


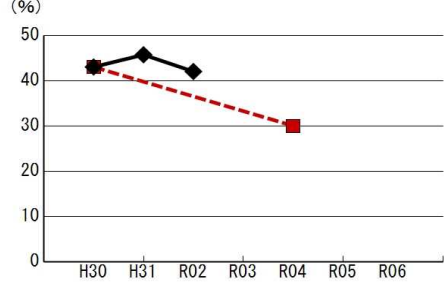


基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器を設置している住宅の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【予防課】	79.0	63	0	82.0	(比較不可)
評価	(状況) 昨年の集計は実施していない。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一般住宅の訪問を実施しなかった。					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						■■ (低)


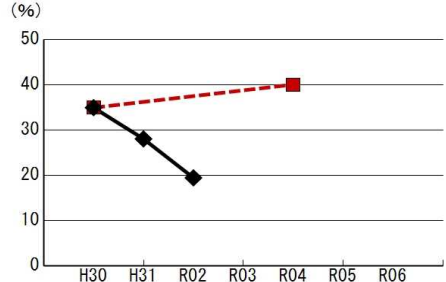


基本事業03 救急救命体制の充実

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	66.0	64.6	66.7	75.0	
評価	(状況) 数値はやや上昇 (原因) H31とR2のバイスタンダーCPR比較 住宅58.3%：65.6% 老健100%：75% その他50%：50%で一般住宅 での実施率が上昇しているのが要因と思われる。	(％) 				対 前年度
		 (向上) 目 標 達成度  (中)				


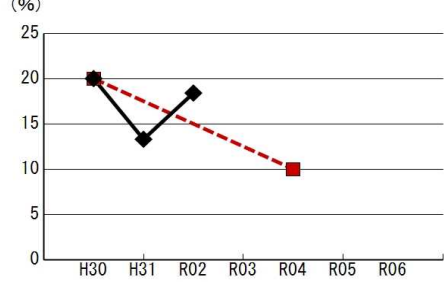


基本事業03 救急救命体制の充実

指標	軽症での救急車利用割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	43.0	45.7	42.0	30.0	
評価	(状況) 数値は大幅に低下 (原因) 例年行っている適正利用の呼びかけが低下の原因と思 われる。また、コロナ禍により、病院に行くのを躊躇う市民が 増加した事と、令和2年に行ったデジタルサイネージも広く普 及啓発に貢献していると思われる。	(％) 				対 前年度
		 (向上) 目 標 達成度  (中)				

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	救急救命士複数搭乗率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	34.9	28.0	19.4	40.0	
評価	(状況) 数値は減少 (原因) 新型コロナウイルス感染症まん延防止対策により、複 数搭乗を極力実施していなかった為、19.4%の複数搭乗は、新 人救命士の教育の一環として先輩救命士と搭乗させていたも の。	(％) 				対 前年度
		 (低下) 目 標 達成度  (低)				

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【予防課】	20.0	13.3	18.4	10.0	
評価	(状況) 自火報以上の防火対象物に対して、基準値よ り向上しているものの前年よりは低下している。 (原因) 消防用設備点検結果報告書を提出し 摘項目の是正指導を実施し ているが、改修計画書を提出のみで 善には至っていない。	(％) 				対 前年度
		 (低下) 目 標 達成度  (中)				

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【予防課】	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況) 危険物施設からの漏洩なし (原因) 立入検査時、設置許可時に漏洩事故 を関係者に認識させている。の重大さ					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(達成)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	市消防本部で通常対応できなかった出動回数（回）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	37	29	40	0	(低下)
評価	(状況) 数値は増加 (原因) 災害時の輻輳出動件数が増加した事が要因である。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	資機材トラブル件数（件）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	38	29	28	0	(向上)
評価	(状況) 数値は減少 (原因) 経年劣化による故障が過半を占めている。また人為的 ミスによる車両の破損や部品の一部破損が5件で、昨年より2件 減少した事が要因である。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(中)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01 市民協働の推進

あるべき姿

自分のまちを自分たちで担う人が増加し、地域コミュニティが形成されている。

施策の成果状況と評価

指標	地域活動へ参加している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【協働推進課】	53.8	55.4	43.7	60.0
評価	新型コロナウイルスへの感染防止対策が地域活動でも求められ、地域活動自体の抑制や外出自粛により活動へ参加を断念せざるをえなかった。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	校区コミュニティ協議会の活動内容を知っている市民割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【協働推進課】	57.3	50.9	59.8	65.0
評価	前年度比較は大幅な増加となっているが、基準値（H30年度）と比較すると2年間での微増程度である。新型コロナウイルスの感染拡大による家庭での時間が増え、地域広報誌等やホームページを見る時間が増えたことも要因と考えられる。					対 前年度
		(向上)	目 標 達成度	(中)		

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【協働推進課】	94.5	94.1	93.6	94.5
評価	基準値（H30年度）、対前年度比ともに微減となっている。集合住宅への転入者等から行政区加入の必要性に理解が得られにくい状況があることが一因として挙げられる。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	(低)		

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【協働推進課】	37	37	37	39
評価	基準値（H30年度）、対前年度比とも団体数に変化はないが、2増2減の状況があった。活動拠点や活動費用がないこと等の課題を含め、登録団体から意見徴集を行い、補助制度の周知や課題整理を行う必要がある。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	(低)		

基本事業03 国際化・多文化共生の基盤づくり

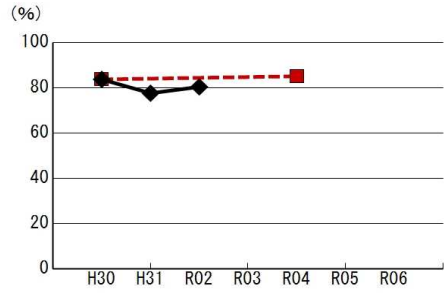


指標	多文化共生社会に取り組んでいる庁内の事業件数（事業）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【協働推進課】	6	7	8	8
評価	事業件数は年々の増加をしているが、住民基本台帳における外国人口も増加していることから、庁内各課においても状況に対応した事業がさらに求められている。					対 前年度
		(向上)	目 標 達成度	(達成)		

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 02 積極的な広報・広聴の展開

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【総務広報課】	83.6	77.5	80.3	85.0
評価	(状況) 対基準値は下回るものの、前年度からは2.8p上昇した。 (原因) 新型コロナウイルス関連情報について、即時性を考慮し、紙・電子媒体を組み合わせることで随時対応したことによるものと思われる。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 広報の充実

指標	市政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		83.2	80.5	81.7	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 基準値は下回っているが、前年度から1.2p向上した。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事件数（件） 【総務広報課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		200	228	191	250	☂ (低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度いずれも低下。 (原因) 新型コロナウイルスの影響によりイベントや地域行事の中止などが相次ぎ、プレスリリース数が減少。その結果、掲載件数も減少した。一方、新型コロナ関連情報の発信により一定数記事化されたため、月平均で3~4件の低下で留まっている。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

基本事業02 広聴の充実

指標	市民が意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		83.9	74.5	78.8	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 対基準値は下回っているものの、前年度から4.3ポイント上昇。 (原因)					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 持続可能な行政経営

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	全施策の市民満足度平均 (pt)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	2.98	3.08	3.09	3.10
評価	(状況) 横ばい (原因) 施策ごとに見れば、全27施策中18施策(2/3)が前年度より向上しており「横ばい」以上の成果が出ている。					☁ (横ばい)
						目標達成度 ▬ (高)

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)(%)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	58.0	57.6		70.0
評価						(---)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	P D C Aサイクルのための取り組み平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目） 【企画調整課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				2.4	2.3	2.2
評価	(状況) 数値は横ばいで推移 (原因) 令和2年度は、新型コロナ対策に集中するため行政経営システムの運用を一時休止した。					対前年度
		(横ばい) 目標達成度 (低)				

基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点） 【企画調整課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				2.97	2.94	2.97
評価	(状況) 横ばい (原因) コロナ対策に集中したことで現場の事務改善が先送りになったことが一因と考えられる。					対前年度
		(横ばい) 目標達成度 (中)				

基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（%） 【企画調整課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				43.3	取得不可	取得不可
評価	(状況) コロナ対応により事務事業の成果指標実績値を取得していないため (原因)					対前年度
		(---) 目標達成度 (---)				

基本事業02 I C Tによる情報の適切な管理と利活用

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合（%） 【総務広報課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				36.4	49.3	56.7
評価	(状況) 目標値を達成している (原因) 市ホームページの閲覧(45.3%)はH30年度(31.7%)比で13.6%増加している。令和2年度中に閲覧された全ページのうち新型コロナウイルス感染症関連ページの閲覧は52.4%に及んでいるため、この影響が非常に大きいと思われる。					対前年度
		(向上) 目標達成度 (達成)				

基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	転入者数（外国人含む）（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	2,481	2,633	2,185	2,400	☂ (低下)
評価	（状況）転入者数は前年度と比較して大幅に減少した。（448人） （原因）新型コロナの影響により技能実習生を主とした外国人の転入(入国)が激減したことに起因する。（前年度414人 177人）					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	転出者数（外国人含む）（人）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	2,355	2,275	2,200	2,300	☀ (向上)
評価	（状況）前年度比75人減少とほぼ横ばいで推移している。 （原因）新型コロナウイルスの影響により全国的に人の動きが抑えられたことが要因の1つと考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

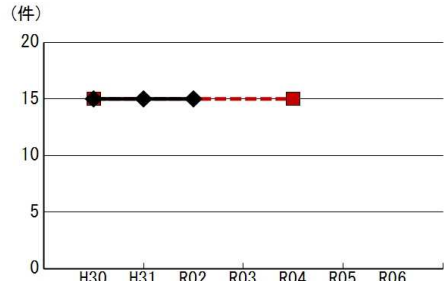


基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	居注意欲度の県内順位（位）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	8	6	16	7	☂ (低下)
評価	（状況）順位は全国でも304位から522位へと急落した。 （原因）順位の基本となる点数そのものは、4.8点と前年度比0.6ポイント減少に留まっており過去2番目に高い値である。他市の点数が上昇したことが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 広域連携の推進

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	18.7	23.3	27.2	30.0	☁ (横ばい)
評価	（状況）前年度比約4ポイント向上した。職種では技術職等と消防職が上昇。年代では30歳代と30歳未満が上昇。 （原因）「どちらともいえない」が減り、「どちらかといえばそう思う」が増えており、具体的な進展はなかったことから、誤差の範疇と判断する。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業04 広域連携の推進

指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数 (件) 【企画調整課】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
				15	15	15
評価	(状況) 変化なし (原因)	(件) 				対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な財政運営

あるべき姿

将来世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって持続可能な行財政構造が構築されている。

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【財政課】	91.4	93.6	91.8	92.0
評価	(状況) 前年度に比べ1.8ポイント改善した。 (原因) 扶助費の増などで経常一般財源歳出が増加したものの、幼児教育・保育無償化に係る交付税措置などによる普通交付税の増、消費増税に伴う地方消費税交付金の増などにより、経常一般財源収入が増加したため、経常収支比率としては改善した。					☀ (向上)
		(対前年度) (目標達成度) (達成)				

指標	財政調整基金残高（億円）（億円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【財政課】	24.8	22.9	22.9	20.0
評価	(状況) 前年度を維持 (原因) コロナ対策事業の実施により、財政調整基金の取り崩しも想定していたが、地方創生臨時交付金などの国の財政支援を活用しながら対応したことによって取り崩しを行わずに済んだ。					☁ (横ばい)
		(目標達成度) (達成)				

指標	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	12.8	10.9	8.4	10.0
評価	(状況) 2.5ポイント向上 (原因) 「納得できる」「どちらかと言えば納得できる」とともに向上。コロナ対策事業に関する周知が奏功した可能性高い。納得できない理由は、依然「税金が高い」「用途が不明」が目立つため、継続した周知が必要と考えられる。					☀ (向上)
		(目標達成度) (達成)				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	市税収納率[現年度分](%) 【税務課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		99.1	99.0	98.7	99.0	☂ (低下)
評価	(状況)前年度より0.3ポイント低下した。 (原因)コロナ禍の影響による徴収猶予(36,782千円)の影響により収納率が低下した。仮に徴収猶予額が収納されていたとすると、収納率は99.3%で目標を達成できていた可能性がある。					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (高)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	保育料の収納率(%) 【財政課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		98.1	98.9	98.4	99.0	☀ (向上)
評価	(状況)前年度より0.5%低下した (原因)納付できない理由として「コロナ禍での収入減」をあげる世帯が多かった。					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	住宅使用料の収納率(%) 【財政課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		98.2	99.5	99.9	98.5	☀ (向上)
評価	(状況)前年度より0.4%向上した (原因)前年度に引き続き、滞納者や保証人に対するこまめな対応を行ったことにより過去最高の収納率となった。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	道路水面占用料の収納率(%) 【財政課】	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
		99.5	99.2	99.6	99.4	☀ (向上)
評価	(状況)前年度より0.4ポイント増加した。 (原因)前年度未納者が滞納対策により今年度は納付済みになったこと等が主な原因と考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質公債費比率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	6.9	7.6	8.1	9.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から0.5ポイント悪化 (原因) 防災関連、公共施設の長寿命化等の事業実施に伴い、地方債の借入額が増加している。公債費負担比率が上昇しすぎないように、地方債の借入額の調整を行っていく。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質収支比率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	4.0	7.3	8.2	3.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度に比較して0.9ポイント向上した。 (原因) 税収が確保できたこと、コロナ対策事業において国庫補助を有効に活用できたこと、その他の経常経費ではコロナ禍に伴う事業休止等もあり歳出が抑制されたことなどから収支改善を図ることができた。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	2022（令和4）年度までの施設(ハコモノ)の削減率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	0.0	3.4	3.4	2.5	☀️ (向上)
評価	(状況) H31実績と変わらず3.4%となった。 (原因) H31年度に水田コミュニティセンタープール及び紅葉団地の解体を実施。合計1,480㎡の除却により、削減率3.4%を達成済み。R2年度は窓ヶ原体育館の利用者調整まで行ったが、普通財産に移管した旧塚本邸を含め、除却には至っていない。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	主要建物更新計画策定率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	50.0	100	100	100.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 主要4施設（公営住宅、衛生センター、小中学校、サザンクス筑後）について個別施設計画策定し目標達成。 (原因)					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく（中・大規模）改修達成率（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【財政課】	0.0	91.7	69.2	80.0
評価	（状況）目標値の80%に10.8ポイント届かなかった。（R3当初予算要求数18、担当課取り下げ-1、100万円未満-1、コロナ対策事業との調整-3件で対象件数は13件。うち予算化できた件数が9件） （原因）R2年度はコロナ対策事業に注力した関係で、事前の十分な議論の時間が取れなかったことが影響している。	(％) 				対 前年度
		☔ (低下)	目 標 達 成 度	☐ (高)		

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	庁舎建設基金残高（億円）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対 基準値
		【財政課】	0	16	17	19
評価	（状況）予定どおり1億円の積み立てを実施。	(億円) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	☐ (高)		

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 05 市民から信頼される職員・組織づくり

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
		【市長公室】	87.9	81.6	85.4	90.0
評価	(状況) 向上 (原因) コロナ禍における住民の不安等からこれまで以上に行政へ求める期待が高まってきており、一定コロナ対策事業など、住民からの理解を得たものとする。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【市長公室】	58.6	63.0	71.3	67.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 目標達成 (原因) ・コロナ対応などの突発業務へ対応するためにプロジェクトチーム等組織横断的に取り組んだことが1つの要因と考える。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数(類似団体の平均値に対する割合)(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【市長公室】	66.4	65.2	64.7	65.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 目標達成 (原因) ・市の課題と財政状況及び会計年度任用職員の活用等を踏まえ、最適な組織機構と人員配置を行ったため。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成(諸施策)により職員の能力が向上していると思う職員の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【市長公室】	49.6	51.6	54.8	55.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上傾向 (原因) ・成果向上の要因はよく分からないが、人事評価結果の活用等これまでの蓄積の結果、一定職員の能力向上に繋がった可能性がある。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合(%)	実績値(H30)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R04)	対基準値
	【市長公室】	62.5	76.7	82.2	95.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上傾向 (原因) ・待遇委員会の取組みや住民からのお褒めの言葉やご指摘等、必要に応じた職員周知等。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人） 【市長公室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				234	210	212
評価	年休取得5日未満：65人 時間外月45時間超：127人 時間外年360時間超：19人 公務災害：1人 新型コロナへの対応による時間外増への影響が顕著。ただ、その他では業務の平準化等に対応できたと思われるものもまだある。	(人) 				対前年度
						目標達成度 (低)

基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（％） 【市長公室】	実績値 (H30)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	対基準値
				81.1	84.2	87.2
評価	そう思う 40人 どちらかといえばそう思う 239人 239人÷320人(全回答者数) 全体的には成果向上しているものの、消防では約1/4が徹底されていないと答えており、今後原因分析、改善を図る必要がある。	(％) 				対前年度
						目標達成度 (達成)